

～安心、安全、情報開示で 質の高い保育サービスを提供～

特徴・ポイント

- ・「安心、安全、情報開示」という理念の明確さと一貫性
- ・ベンチャー精神溢れる決断（リスクテイク）と慎重さのバランス感覚
- ・外部ブレンや地域経済人、行政とのネットワークの活用

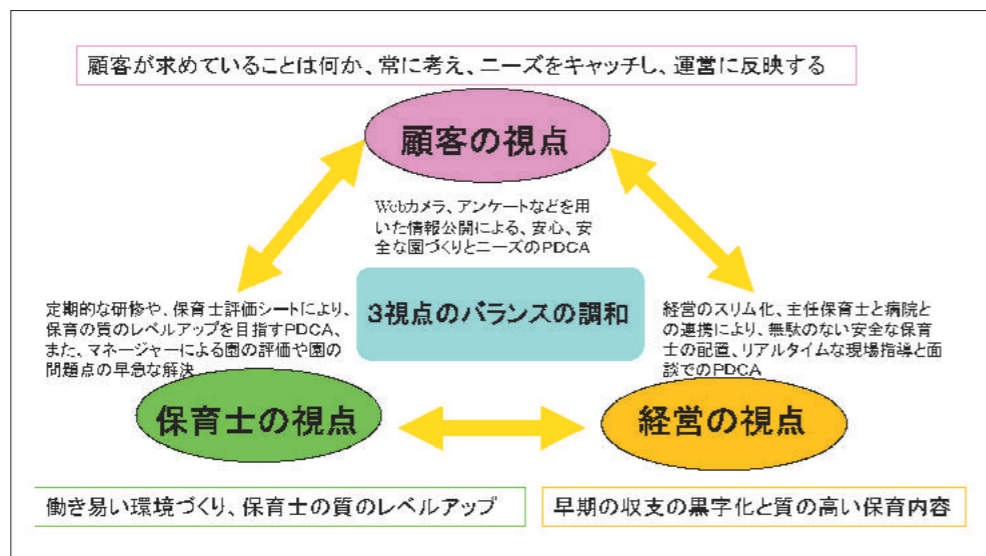
事業概要

乳幼児保育を事業の中核とし、子育て支援サービスや保育コンサルティングも展開している。保育事業としては、舞子園、加古川園を初めとする保育サロンの運営、企業内・病院内保育園の運営委託、プリスクールの運営を行う。Webカメラ、ICタグの導入など、一貫して「お客様の安心、安全と、保護者様への情報開示」に取り組み、現在に至る。

「安心、安全、情報開示」をキーワードに「保育の見える化」を

幼児教室を主宰していた木田さんは、働くお母さんとお家にいるお母さんの双方を支援するため保育園を作ろうと決意した。2000年のことだ。木田さん自身、下のお子さんは1歳半から預けて仕事をしていて、迎えに行ったら泣いている。生活に困っていたわけではなかったので子どもを預けて仕事をしている自分を責めた。この子が走り回っている姿を仕事に見られたらどんなに安心するだろう。当時叫ばれていた認可外保育園の質の低下も、園長による子供の虐待も「密室」が原因だと思った。木田さんが保育園に求めるのは、「安心、安全、情報開示」。これは今もチャイルドハートの基本思想だと木田さんはいう。また、お家にいるお母さんの支援という点にも顧客ニーズを掴み取る木田さんのセンスが現れている。子供と家にお母さんにとって少し子育てから離れるのはお母さんの気持ちにゆとりができ、また、客観的に子育てを振り返る良い機会になるが、日本では外で働いていないと子供を預けられる環境がなかった。そこで月30時間1万円（当時）というサービスを考えた。お母さん達が預けやすいよう「教育」という付加価値を付けたメニューにした。これなら、お稽古事感覚で預けられるためお母さん方も罪悪感を感じず、周囲の目を気にする必要がない。

チャイルドハートの強み



私はベンチャー。リスクは負います

「安全、安心、情報開示」に基づく「保育の見える化」を木田さんはどうやって実行したのだろうか？ 木田さんは「Webカメラ」を考えた。子どもが小学生の時、テレビ番組で見かけて教えてくれたのだ。それから、会う人会う人にWebカメラのことを話していたら、メーカー勤務の友人が、製造工程を監視カメラで映していて、それを流用できるのではとやってきた。同時期、そのメーカー側も保育園での使用を考え、社内掲示板でモニターの圏を探していた。友人を介して会社の方に会い、すぐに話がまとまり、舞子園（神戸市）の開園と同時に導入した。今までにないシステムなので弁護士に相談したところ、とても叱られたという。録画内容は重要な個人情報であり、データが流出したら大問題だ。木田さんだけでなくメーカーにも責任が及ぶと言われた。しかし木田さんは、「私はベンチャー。リスクは負います。ただ、従業員もいるのでリスクに対して守る術を教えてください」と答え、法律上のアドバイスをもらい、情報セキュリティに取り組んだ。母、働く現場（保育士）、園児、経営者、いずれの視点で考えてみても、Webカメラは負うべきリスクだった。保育士も人間なので気を抜いてしまうこともあるが、我々は命を預かっている。カメラがあることによって保育の質は上がる。木田さんが設置した後、他の園も一気に付けた。「私が付ける事によってトライする園が増えたのはいいこと」と木田さんは言う。



保育の見える化 ガラス張りの室内

園長が帰ってくるたびにすることが増える

保育の質を落とさないために、保育士の数と意識には気を配っている。保育士チェック表を作り、自己評価してコメントを書いたものを提出させ、それを木田さんがチェックして返却。面談も頻繁に実施する。チャイルドハートは現場の先生達が皆で作っているという意識を持ってもらう。6園による園長会議を月に1回実施し、各人が自分達の工夫を披露し合って共有し、よりよい方法をチャイルドハートのマニュアルに加える。例えば、睡眠時の呼吸チェックは15分おきだが、忘れてしまわないようにタイマーを付けることになった。また、乳幼児突然死症候群は、発症したときに覚醒することが重要なため、早期発見のため呼吸チェックのときは見るだけでなく、そっと触ることも追加した。ある園の保育士が「園長が帰ってくるたびにすることが増えて大変」と冗談めかして言ったそうだ。「その度に保育の質が上がっているということ。今度は保育士を連れて来て」と園長に言っておいたという。

事業を拡大する気はないと木田さんは言う。多くてもあと5園。自分の目の届く範囲で事業展開し、質を低下させたくないからだ。ベンチャーはハコを持つとお金がかかる。ハコは舞子と加古川だけで、あとは運営委託でいい。そこには、WebカメラやICタグを導入したときそのまま、理念を実現するためにリスクを恐れず果敢に挑戦する経営者の姿があった。

団体名：株式会社 チャイルドハート
代表取締役 木田 聖子
住 所：兵庫県神戸市
HPアドレス？ <http://www.child-heart.com>